

ようこそ オープンキャンパスへ ～県立広島大学 生命環境学部～



生命環境学部長 奥 尚

本日のプログラム

「DNAから読み解く生命の進化」
菅 裕 先生

学部・学科		9:30~	11:00~	12:00~	13:00~	14:00~	15:00~
生命	生命科学科	学部・学科 大学院紹介 (9:30~10:30)	学部・学科 大学院紹介 (11:00~12:00)	模擬講義 (13:00~13:30)		模擬講義 (13:40~14:10)	「身近な食品や植物に含まれる機能性物質」 野下 俊朗 先生
		開放研究室／個別相談 (9:30~16:00) / (9:30~13:00, 15:00~16:00)					
環境	環境科学科	学部・学科 大学院紹介 (9:30~10:30)	学部・学科 大学院紹介 (11:00~12:00)	「廃棄物とリサイクル」 崎田 省吾 先生		模擬講義 (14:20~14:50)	
		開放研究室／個別相談 (9:30~16:00) / (9:30~13:00, 15:00~16:00)					
学	その他		施設見学 (10:30~11:00, 11:00~11:30, 11:30~12:00)		保護者説明会 (13:00~14:00)		施設見学 (15:00~15:30, 15:30~16:00)

地域に貢献する「知」の創造・応用・蓄積を図り、「地域に根ざした、県民から信頼される大学」を目指して、
〈教育〉〈研究〉〈地域貢献〉を3本の柱とした大学運営を積極的に推進します。

教育

実践力のある人材の育成

研究

地域に根ざした高度な研究

地域貢献

大学資源の地域への提供

知が集まり、世界が広がる！



県立広島大学

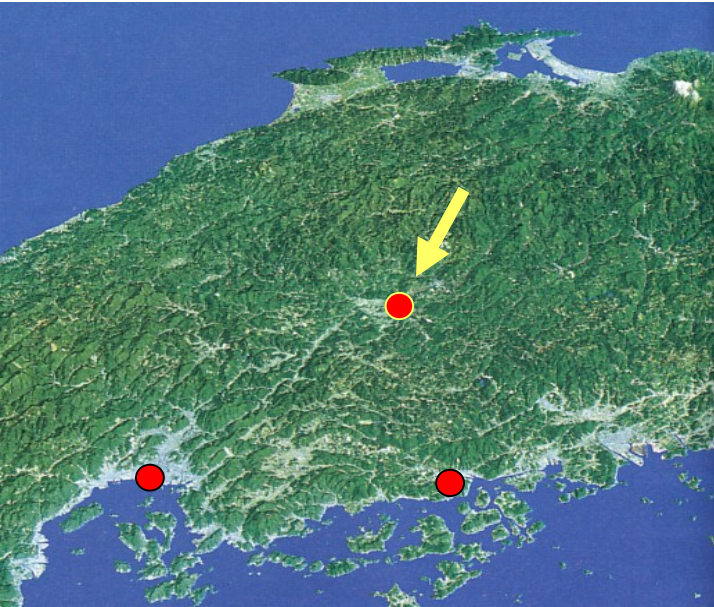
Prefectural University of Hiroshima



人に優しい科学を探求する

生命環境学部

Faculty of Life and Environmental Sciences



生命科学と環境科学の連携で地球に貢献する 生命環境学部



生命環境学部

Faculty of Life and
Environmental Sciences

学部の特色！

◎カリキュラムの特色

1. **研究者・技術者養成のための基盤充実**: 専門基礎・実験演習科目・専門科目の合理的・系統的配置による教育
2. **高度な専門科目ときめ細かい指導**: 合理的かつ体系的な専門教育と2年間必修の卒業研究により複合的・学際的視野をもつ人材の育成

◎研究活動の特色

1. **積極的な共同研究の実施**: 重点研究成果の教育活動への反映
2. **最先端研究への学生の参加**: 最新技術の修得と全員卒業研究

学部教育の概念図

～バイオテクノロジーの活用～

生命科学科

- ・生命機能の解析・応用
- ・生物資源の活用
- ・食品の高機能化

定員:110名
教員:33名

連携領域

- ・人間生活の向上
- ・持続型社会の構築
- ・バイオレメディエーション
- ・フィールド科学

環境科学科

- ・環境計測・分析
- ・環境保全技術
- ・環境材料開発

定員:55名
教員:16名

～環境の把握と課題提起～

フィールド科学 教育分野の特徴



人材育成目標

農学を中心とした専門知識のみならず、生命・環境科学の幅広い専門知識を有する人材、分野間連携、調整能力を発揮し課題解決にあたることのできる人材を育成します。たとえば、コミュニケーション力、リーダーシップを持ち、「食」と「農」およびそれを取り巻く「環境」知識についての強みを発揮して6次産業の担い手となりうる人材を育成します。



基幹となる科目

「フィールド科学」1年後期 選択
備北地域の理解と地域貢献についての学問
「フィールド科学実習」2年通年 選択
地域課題に関わる基本技術の習得
「フィールド科学卒論」3-4年 卒論必修
分野横断的な総合的視野を持つ人材育成

特色と位置づけ

連携領域

生命科学科

- 生命機能の解析・応用
- 生物資源の活用
- 食品の高機能化

- 人間生活の向上
- 持続型社会の構築
- バイオレメディエーション
- 生物動態

環境科学科

- 環境計測・分析
- 廃棄物処理・再資源化
- 環境ガバナンス

フィールド科学

本学部の立地を活かした地域産業と連携した教育

附属フィールド科学教育研究センターとの連携

学外での卒論発表会

両学科の教員による学科枠を超えた教育

フィールドに出かけて課題発見-解決型の教育



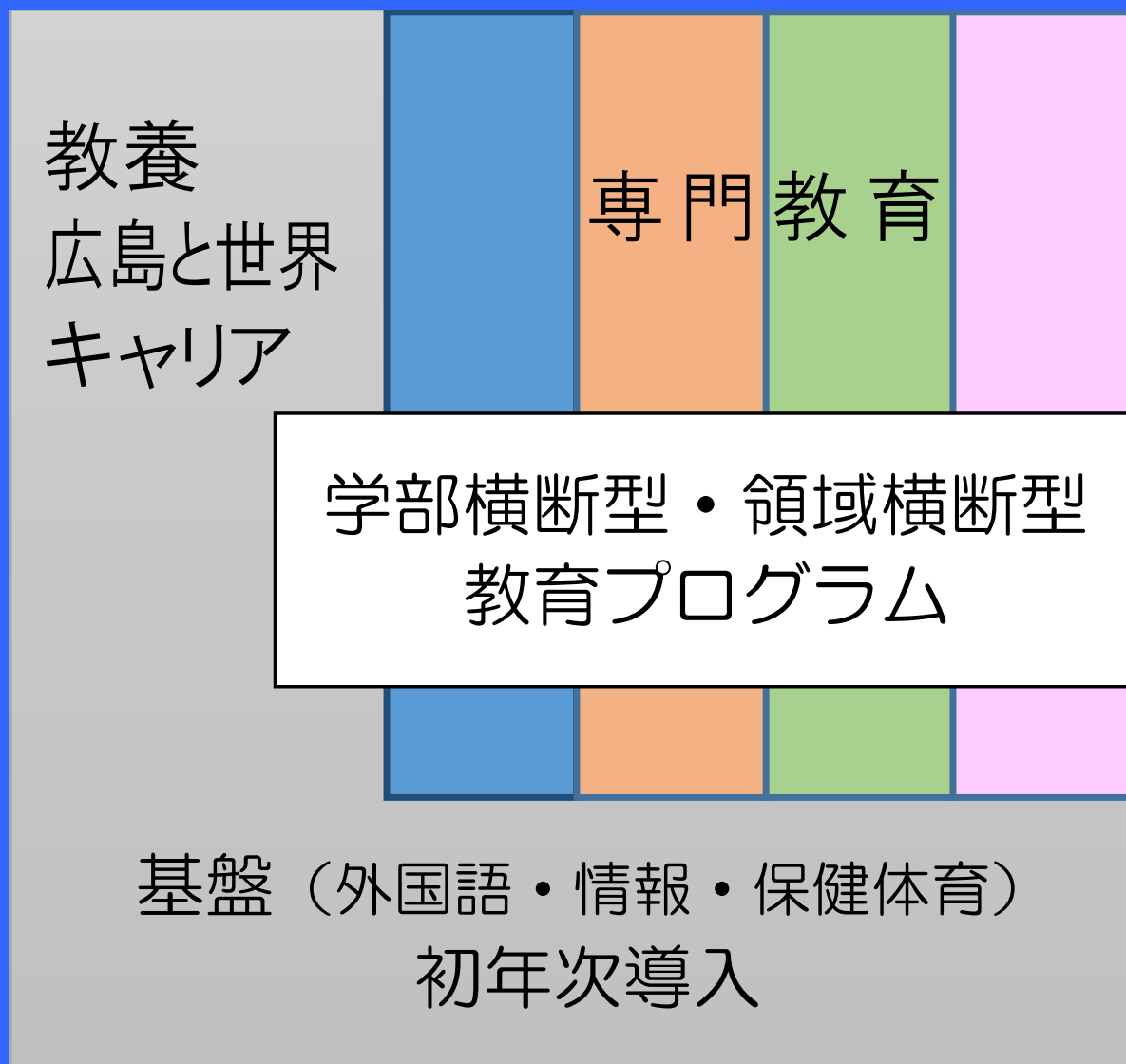
生命科学と環境科学の連携で地球に貢献する

生命環境学部

専門教育と全学共通教育の役割

専門教育	高度な専門的知識・技能を身に付ける
全学共通教育	専門分野の枠を越えて必要とされる知識やスキル, 幅広い視野や教養を身に付ける

学部横断・領域横断型のプログラム





生命環境学部 卒業必要単位

区 分		必要最低単位数		
		生命科学科	環境科学科	
全学共通教育科目	初年次導入	1単位	1単位	
	基盤(外国語・情報・保健体育)	14単位	14単位	
	キャリア	2単位	2単位	
	教養(人文・社会・自然)	6単位	6単位	
	広島と世界	2単位	2単位	
	上記区分から自由選択	7単位	7単位	
専門教育科目	専門基礎科目	15単位	15単位	
	学部共通科目	24単位	29単位	
	学科専門科目	学科共通	20単位	40単位
		コース専門	25単位	
卒業論文(2年間必修)		8単位	8単位	
合 計		124単位	124単位	

平成27年度～



生命環境学部 卒業論文発表会

生命環境学部生命科学科および環境科学科では、3年次から研究室に配属し、卒業論文研究に着手します。教員からの指導を受け、実践的な研究活動(実験やフィールド調査等)を積み重ね、それぞれが研究成果を卒業論文にまとめ、発表会で発表します。



平成26(2014)年度卒業論文発表会(平成27年2月9, 10日開催)の様様

農作業奉仕学生の輪10年

庄原の県立大サークル

農家との触れ合い喜び

県立広島大庄原キャンパス(庄原市七塚町)の農林作業ボランティアサークル「ファーマーズハンズ」が、設立から10周年を迎えた。農作物を作る喜びに加えて、農家の生き方に触れることも学生の興味につながり、当初4人だったメンバーは約90人に膨らんでいる。

(伊東雅之)



庄原市東城町の田んぼで田植えに精を出すファーマーズハンズのメンバー(25日)

庄原市東城町で25日、52人が参加した。毎年、あつた田植え交流会に、会の新入生が活動への

関心を深めるきっかけにもなっている。広島市佐伯区出身の1年山本千里さん(19)は「食物が農家の苦労から生まれていることを実感できた」と顔の泥を拭いた。

「地元農家をお手伝いしよう」と2004年に発足した同会。活動は庄原、三次市の農家から寄せられる田畑の耕作や草抜き、収穫、間伐材の処理などの作業に希望者を派遣する。自由参加の気楽さもあり、都市部出身者を中心にメンバーは増

学生考案 庄原で

県立広島大

県立広島大庄原キャンパス



を提供。学生約20人がことし6月から約3カ月かけて、完成させた。

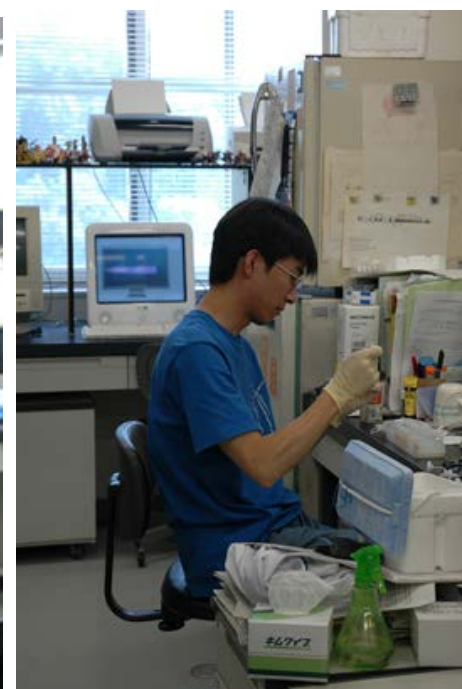
「ト」の一環で作られた。大敷地とれんがなどの材料費

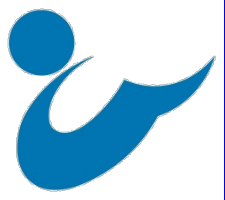
日本農芸化学会学生奨励賞



生命環境学部における学内活動の様子







さまざまな学習支援体制



平成26年度卒業生 進路決定状況

区 分			学 部 計			生 命 環 境 学 部					
						生 命 科 学 科		環 境 科 学 科			計
就 職 希 望 者	就 職 者	民間企業等 採用者	男	女	男	女	男	女	計		
				公務員 採用者							
		小計	50	60	110	27	46	73	23	14	37
	就 職 活 動 者		0	2	2	0	1	1	0	1	1
	合 計		50	60	110	27	46	73	23	14	37
平成26年度 就職率			100.0	96.7	98.2	100.0	97.8	98.6	100.0	92.9	97.3
前年度同期 就職率					96.1			96.6			94.7
前年度確定 就職率					96.1			96.6			94.7
進 学 等	大学・大学院		11	12	23	5	7	12	6	5	11
	専 門 学 校 等		1	0	1	1		1			0
	合 計		12	12	24	6	7	13	6	5	11
そ の 他	期間限定任用		0	0	0			0			0
	進 学 準 備		0	0	0			0			0
	公務員準備		1	1	2	1	1	2			0
	資格取得等		1	0	1			0	1		1
	不明・その他		2	2	4	1	1	2	1	1	2
	合 計		4	3	7	2	2	4	2	1	3
卒 業 予 定 者 数			66	75	141	35	55	90	31	20	51

大学案内 69ページ



生命環境学部における資格・免許と進路

	取得できる資格・免許	卒業後の進路目標
生命科学科	中学校教諭1種免許（理科） 高等学校教諭1種免許（理科） 食品衛生管理者 食品衛生監視員 バイオ技術者中級・上級	教育・研究機関の教育者・研究者 医農薬品工業・化学工業・資源エネルギー産業の研究者・技術者 食品関連企業の研究者・技術者 バイオテクノロジーを生かすあらゆる業種の研究者・技術者 関連分野の大学院進学、など
環境科学科	中学校教諭1種免許（理科） 高等学校教諭1種免許（理科） 食品衛生管理者 食品衛生監視員 エコ検定 環境分析士 公害防止管理者	教育・研究機関の教育者・研究者 化学・薬品・食品等の製造業の研究者・技術者 建設、電機、機械等の産業における環境部門の研究者・技術者 環境関連の分析・コンサルタント産業の研究者・技術者 環境関連の公共研究機関、環境関連NPO法人の研究者・技術者 関連分野の大学院進学、など

国際交流

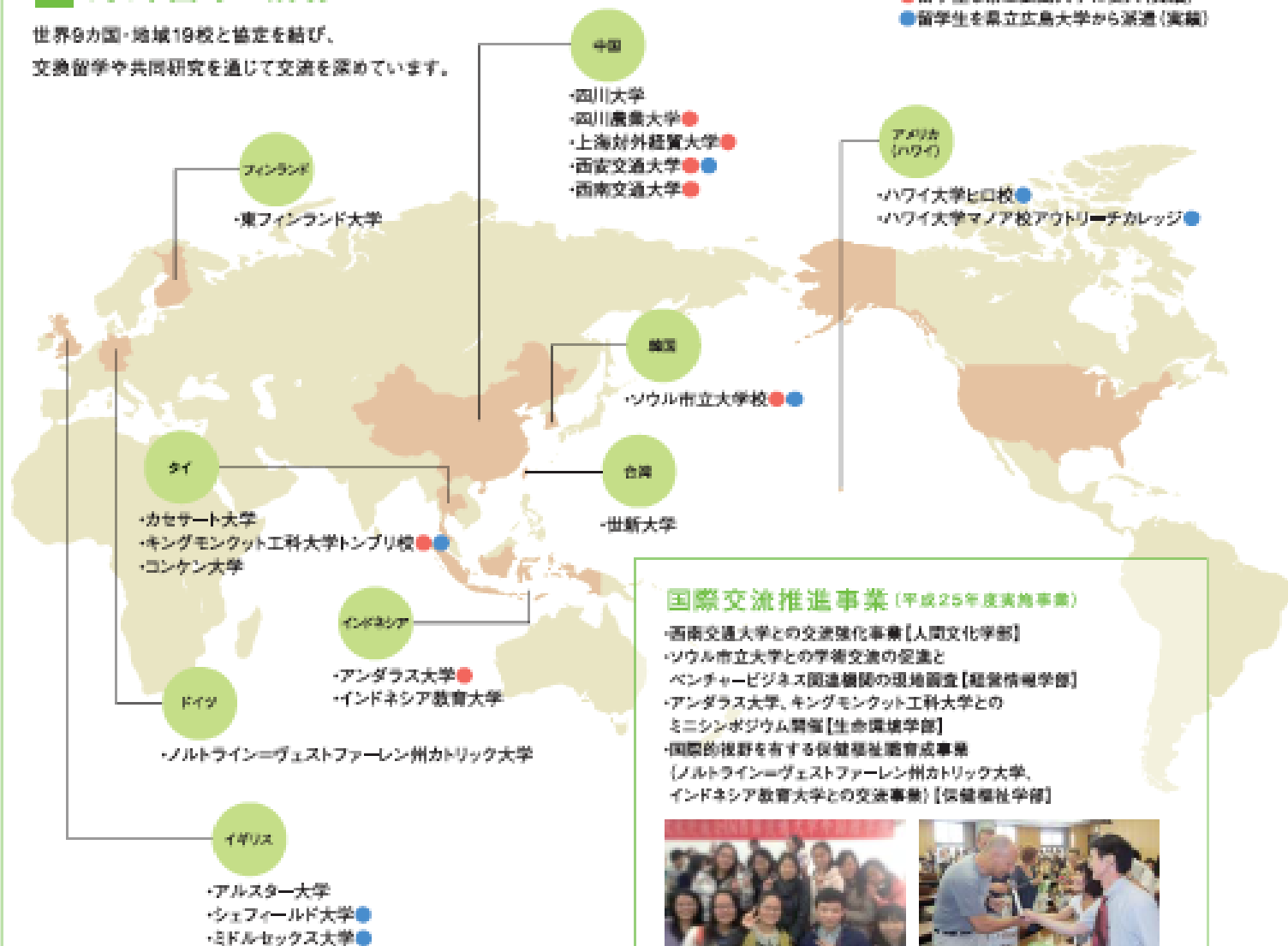
International Exchange

国際的な視野を持って活躍できる人材の育成を図るとともに、海外の学生と、互いの違いを認め合い、理解を深めながら学ぶことのできる環境づくりに積極的に取り組んでいます。

今後5年間で海外協定校数、留学生数の倍増、そしてさらなる大学の国際化を目指しています。

海外留学・研修

世界9カ国・地域19校と協定を結び、交換留学や共同研究を通じて交流を深めています。



国際交流推進事業 (平成25年度実施事業)

- 西南交通大学との交流強化事業【人間文化学部】
- ソウル市立大学との学術交流の促進とベンチャービジネス関連機関の現地調査【経営情報学部】
- アンダラス大学、キングモンクット工科大学とのミニシンポジウム開催【生命環境学部】
- 国際的視野を有する保健福祉教育成事業 (ノルトライン＝ヴェストファーレン州カトリック大学、インドネシア教育大学との交流事業)【保健福祉学部】





恵まれた自然環境の中、科学する
心のエネルギーを燃やしてみませんか



Twitter https://twitter.com/puh_official

Facebook <https://www.facebook.com/pref.univ.hiroshima>

Homepage <http://www.pu-hiroshima.ac.jp/>